

- きじはこえにだしてよんでみよう。
- ないようについて、だれかとはなしてみよう。



成長願う須賀川絵のぼり

端午の節句の縁起物として子どもの健やかな成長を願う「須賀川絵のぼり」の制作が最盛期を迎えている。

須賀川絵のぼりは約250年前、白河藩主松平定信公のお抱え絵師だった銅板画家・亜欧堂田善が中国の鍾馗を布や和紙に描き、魔よけとして庭先に立てたのが始まりとされる。

手描き染めの伝統を受け継ぐ「吉野屋」では、注文が入り出した昨年12月から制作を開始。6代目の大野修司さん(70)が筆やはけを使用し、鍾馗や金太郎などを色鮮やかに描いていた。室内用絵のぼりや額絵なども制作し人気という。絵のぼり作りは4月末まで続けられる。

▲ 3月29日 福島民友新聞掲載

きじをよんでおもったこと、みんなとはなして
かんじたことをかこう。(120字くらい)

天井まで届く絵のぼり、力強さが
迫ってきますネ。

